

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	所沢駅西口地区まちづくり調整事業	所管	まちづくり計画部中心市街地整備課
			TEL 2998-9366

事業目的 (何の為に 行うか)	西武鉄道所沢車輛工場跡地を中心とした当地区の計画的な土地利用を図るとともに、都市基盤整備と住環境の改善を行い、総合的な市街地整備を推進するため、まちづくりに向けての調査・検討と関係権利者との調整を行うものである。
-----------------------	--

事業の 具体的 内容	計画 全体	当地区のまちづくりに向けて、各種の調査・検討を行い、基礎資料にするとともに、課題などの整理を行うものである。併せて、事業の検討過程における説明会(全体・個別)や意向調査の実施、また「まちづくりだより」を発行することにより関係権利者との合意形成を図るものである。
	平成 19 年度	今後、事業を推進していくための資料として、当地区のまちづくり計画について、事業の有効性及び整備効果の検証等を行った。

事業の 推進状況	進捗率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		70.0	75.0	80.0	90.0	100.0		平成 22 年度
		見込まれる総事業費(千円)			37,428	事業開始からの累計額(千円)		36,136

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	966	893	22,030	65.0

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	まちづくりに向けた具体的な成果	平成22年度に地区のまちづくりの方向性を決定することを目標とし、各年度の事業進捗を目標とする。	事業化推進業務 単位 分	整備手法等の検証 単位 分	100.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ 有り * 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り (増額 減額 休止 終了) * 無し

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無		* 有り⇒下記評価へ		無し⇒終了	
	総合 評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし * その他〔計画通り推進〕	終了	
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名	担当部課	部課コード	060500	TEL	2998-9366
事業コード 060504	所沢駅西口地区まちづくり調整事業	担当部課	まちづくり計画部中心市街地整備課		
開始年度	平成 13 年度	→	終了年度	平成 22 年度	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用	<input type="checkbox"/> 土木建設	<input type="checkbox"/> 建築	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独
根拠法令	土地区画整理法				
分野別計画・指針	所沢市まちづくり基本方針、所沢市中心市街地活性化基本計画、所沢都市計画都市再開発の方針等				
関連・類似事業	日東地区まちづくり調整事業				
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	2節 市街地整備	中柱
				1 市街地開発事業の推進	小柱
				(6) 所沢駅周辺のまちづくりの推進	
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 34 位		実施計画における位置づけ… H19 A H20 A		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	3121	受益者負担の見直し
			コード	3221	公共工事のコスト構造改革
事業開始の背景	当地区は市の中心市街地に位置し、平成12年6月に西武鉄道所沢車輛工場が閉鎖され、地区内に大規模な未利用地が発生したことにより、地区に住む人々のまちづくりに対する関心が高まってきた。このような中で中心市街地のまちづくりを推進していくためには、当地区の計画的なまちづくりが重要な意味をもつてくるため、関係権利者と総合的な市街地整備に向けた調整を図っていくことが必要になった。				

②事業内容	目的(何のために行うのか、具体的に)	西武鉄道所沢車輛工場跡地を中心とした当地区の計画的な土地利用を図るとともに、都市基盤整備と住環境の改善を行い、総合的な市街地整備を推進するため、まちづくりに向けての調査・検討と関係権利者との調整を行うものである。
	事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応	
	地域の特性をはじめ、少子高齢化の進行や厳しい財政事情の動向等を踏まえたまちづくりが求められており、事業費に係る後年度負担の検討や事業手法等これからのまちづくりのあり方について検討を行っていく。	
	事業の具体的な内容及び実施方法	当地区のまちづくりに向けて、各種の調査・検討を行い、基礎資料にするとともに、課題などの整理を行うものである。併せて、事業の検討過程における説明会(全体・個別)や意向調査の実施、また「まちづくりだより」を発行することにより関係権利者との合意形成を図るものである。
	H19	今後、事業を推進していくための資料として、当地区のまちづくり計画について、事業の有効性及び整備効果の検証等を行った。

③事業の進捗状況	事業の進捗率(%)	総事業費(予)(千円)														
	<table border="1"> <tr> <th>～平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>終了予定年度</th> </tr> <tr> <td>70.0</td> <td>75.0</td> <td>80.0</td> <td>90.0</td> <td>100.0</td> <td></td> <td>平成 22 年度</td> </tr> </table>	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度	70.0	75.0	80.0	90.0	100.0		平成 22 年度	37,428
～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度										
70.0	75.0	80.0	90.0	100.0		平成 22 年度										
	解決すべき課題とその対応策	H19までの事業費累計(千円)														
	課題 権利者との事業に対する合意形成 対応策 説明会やまちづくりだよりを通して事業への理解・協力を得る	36,136														

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,323	966	1,169
	決算(見込み含む)		1,155	893	
	正規職員人件費	3.25 人	29,900	2.25 人	21,137
	公債費				※「財源内訳」について平成19年度のみ、当初予算の内訳となっており、「正規職員人件費」「公債費」はふくみません。
	事業費合計		31,055	22,030	
	財源内訳				
	一般財源		30,636	22,030	1,169
	国・県支出金		419		
	受益者負担金				
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		91.9	65.0	

⑤指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標		
	成果分析	まちづくりに向けた具体的な成果	平成22年度に地区のまちづくりの方向性を決定することを目標とし、各年度の事業進捗を目標とする。	分	目標値	活動推進業務	事業化推進業務	事業化調整業務	方向性目標
				実績	実績値の拡大を図る	パンフレット作成	整備手法等の検証	実績値の縮小を図る	1
達成率	100.0	100.0							
⑥標	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	最終的には事業の完了により都市基盤の整備や土地の有効利用が行われるが、現段階では、まちづくりに向けた調査・検討を行い、権利者との合意形成を図ることにより、地区のまちづくりの方向性を決定することが目標となることから、各年度の進捗状況を成果指標とする。							

⑥一次	評価項目	評価内容			
	妥当性	事業の優先度・緊急性	当地区は、総合計画等の位置付けからも、都市計画の枠組みの中で都市基盤の整備を行い、市の表玄関にふさわしい土地利用と良好な居住環境の形成を図ることが必要である。		
	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み	事業の実現に向けた調査・検討作業を今後も継続していくが、内容などを精査していくことにより、効率的な資料等の作成を行う。		
	効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較	事業を実現することにより、所沢駅周辺の交通渋滞の緩和や大規模未利用地の有効利用等が期待できることから、調査・検討段階での費用に対する効果は十分にあるものと考えられる。		
⑥二次	H 20	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	目標設定	まちづくりのあり方や事業費の後年度負担についての検討	事業の方向性を定める		平成21年3月
		アクションプランの策定	庁内の関係部署と調整し、成果としてまとめる。		平成21年3月
⑥評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	方向性及び今後の	当地区は、中心市街地のまちづくりを推進していく上で重要な位置にあることから、今後も調整事業を継続して行っていく。	
	事業実施方法の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	この	これまでどおり説明会等を通して、まちづくりに向けて権利者との合意形成を図っていく。	
	し総の事業必要費見直し	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了)		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し	
	理由	当地区は、所沢駅西口に近接していることから、中心市街地のまちづくりを推進していく上で重要な位置にあり、各種の調査・検討を進めている。関係権利者との合意形成が大きな課題となるが、説明会や意向調査など、継続して調整事業に取り組んでいく必要がある。			
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	中心市街地整備課長 中留 吉人	

⑦二次	事後評価	平成21年度における事業の方向性																					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 [計画通り推進] <input type="checkbox"/> 終了																					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了																					
	事前評価	<table border="1"> <tr> <td>部内優先順位… 14 位</td> <td>非常に高い</td> <td>高い</td> <td>やや低い</td> <td>低い</td> <td>優先度</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業</td> </tr> <tr> <td>見込まれる総計上位目標</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業</td> </tr> <tr> <td>貢献度</td> <td>市長マニフェスト</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業</td> </tr> </table>	部内優先順位… 14 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	見込まれる総計上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	貢献度	市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
部内優先順位… 14 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業																	
見込まれる総計上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業																	
貢献度	市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業																	
	評価理由	本事業は所沢駅ふれあい通り線と併せて大規模な事業であることから、厳しい財政状況を念頭に置くとともに、地域住民との合意形成を十分に図りながら進められたい。なお、事業の推進にあたっては、所沢駅の駅舎の改築や東口の開発等が予定されていることから、その動向や周辺状況を踏まえる必要がある。																					
	評価日	9月1日																					

⑧外部評価	《外部評価の実施》	H19 <input checked="" type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>	【下記は平成19年度に実施した評価及び対応です。】
評価	・隣接する所沢村山線の開通や所沢駅の改築も予定されるなど、市の玄関口としてのこの地域はこれからの数年で大きく変化する。このことは市のブランドイメージに大きく影響するため、区画整理事業の推進という限定的な視点ではなく、都市のポテンシャルを左右する可能性を持つ事業として市全体で戦略的に取り組むべきである。・地域住民の理解を得るためには土地区画整理事業を実施することの公共的な意味を明確にするべきである。・研究者やコンサルなどの中立的な第三者を市と住民の中間に置き、より広く大きな視点からの合意形成や計画作りを行うプロセスを検討するべきである。		
対応			

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード				
施策体系	施策の方向					